



西中学校だより

令和3年12月23日
東久留米市立西中学校



2学期を終えるに当たり

校長 薮野 勝久

12月になり途端に寒さのこたえる日々が続くようになりました。先日はご多用の中、三者面談への御協力、有り難うございました。各学年とも、面談を通してそれぞれの生徒の成長がお伝えできていればと願っています。また、学校評価アンケートのご協力に関しましても、感謝申し上げます。今年度からは Web によるアンケートの実施でした。この結果につきましては本校 Web サイトに、年内に掲載いたします。様々なご意見を今後の学校経営に活かしていきたいと考えております。

特に最後の設問「本校は、教育目標である《賢く、優しく、逞しく》を達成するため、生徒が「良き社会人」として成長するよう教育活動を行っていますが、お子様にさらにどんな人間になってもらいたいと思いますか？」では、そのご回答に、ある特性が見られることに注目しております。元々この設問は「カリフォルニア児童開発プロジェクト」で行ったアンケートを採用させて頂きました。プロジェクト指導者のエリック・シャップ氏が「私たちは親・・・が基本的には、生徒の学業成績に関心を寄せているものと予想していた」という予測に反して、「思いやり、相手の気持ちが解る、協力や協調性」を、つまり他者との関係性を重視している点、アメリカでも日本でも同じであったことがとても興味を引きました。こうした点は、現在学校が捉えている道徳性に関する価値概念に一致しており、道徳教育の重要性を改めて実感いたします。また、同様に特別活動（学級活動、生徒会活動、各行事、部活動）の重要性が浮き彫りになったことを意味していると考えております。今後これらの指導の充実に向けて精進して参りたいと考えております。

さて、今学期を振り返れば、今年度から全国の公立中学校で新しい評価が実施されました。この詳しい内容につきましては**本校 Web サイト令和3年度7月号学校だより**をご覧くださいだければと思いますが、文部科学省の意図するところは、評価が学力の向上に結びついていない、と言う指摘が最大の要点でありました。例えばプリントやノートの評価するにしても、学力を高める為の形成的評価と、最終的に評定算出のために行う総括的評価は異なっているということ、及び形成的評価を充実せよと言うことが最重要事項でありました。つまり、プリントやノートを生徒に提出させておいて、いきなり採点して評定（5, 4, 3, 2, 1）算出のために使うのではなく、生徒の学力を向上させるために到達目標に届いているかどうかを生徒にフィードバックし、そのフィードバック評価は評定点算出には利用するな、と言う指令でした。私たちはこうした新しい評価のために市から研究委託され、2年間取り組み、今年度3年目に当たりますが、まだまだ研究の余地はあるものと考えております。

また、文部科学省の推進する、GIGA スクール構想の実現を目指し、全国の公立小・中学生に一人1台の端末が配布されました。それは、「**児童生徒向けの一人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想**」です。つまり、一人1台のタブレット端末を利用して、生徒個々人に適合した新たな学びの実現に向けて始動し始めた、ということです。これは、今までの授業の補助的な役割をタブレットに任せるというものではありません。あくまでも新たな学びの実現が目標と言っても過言ではありません。この取組は日本でまだ始まったばかりで、本校は、市から「タブレット端末を文房具のように扱える生徒を育成」することを目的に、長期休業中(冬休みを含む)に自宅持ち帰りを許可して貰い、成果と課題を報告する事になっております。言うまでも無く、もう既に生徒は入力、その他の操作に関しては問題なく授業で活用できる段階になっています。また、生徒会活動、例えば中央委員会では、各委員の意見をタブレット端末利用によって委員会全体に提示するなど、生徒自らが率先して活用するに至っています。ハードウェアやネットワーク環境の問題、そして道徳的な問題も

ありますが、着々と進めていることを合わせてご報告致します。

現在3年生は、それぞれに自分の進路に向かって着実に進み続けています。I組の生徒6名の進路は2人、及び他学級の数名が既に決定していますが、多くの3年生は年明けが本番です。面談期間中から、私と副校長、そして小柳津主幹教諭、高田主幹教諭、渡邊主幹教諭、知名主幹教諭の6人でそれぞれ1日数人程度の面接練習を行っています。これまで西中学校で取り組み学んできた学習のこと、委員会活動や係活動で本校に貢献したこと、部活動で3年間一所懸命取り組み活躍したこと等をはっきりとした口調で答えていました。また、将来の見通しを既にもっている生徒や、社会に貢献する希望を語る生徒等、良き社会人に向けて確実に成長していると実感しています。

2年生は、委員会活動を始めとして、部活動でも本校の中心として活躍しています。また、以前にもお伝えしたとおり1月に行われる「総合的な学習の時間」の校外学習、「江戸を知る」をテーマに掲げた学習に取り組んでいます。特に歴史的なものの見方や考え方について、力を入れて学習しています。現在、「江戸東京博物館では何を見るべきか」といったことが解る事前学習に取り組んでいます。

1年生は、学習面では家庭学習が欠かせないことに気付く生徒も増えていきます。また、本校の各教科の示している「到達目標」の重要性についても、解る生徒が増えてきています。生活態度もすっかり落ち着き、「2年生のゼロ学期」である3学期に向けて準備が整っているように感じます。

令和3年もまもなく終わろうとしています。地域・保護者の皆様のお陰をもちまして、今年も無事に終わることができました。この場をお借りして御礼申し上げます。今後も更に良き社会人を育成する、より良き西中学校を目指したいと考えております。ご支援ご協力をお願い致します。

輝け！ 西中 部活動の活躍！ (敬称略)

【ハンドボール部】

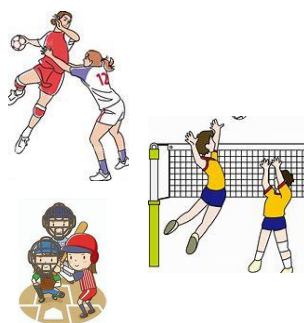
東京都 中学校ハンドボール 新人大会 (男子の部) **優勝**
東京都 中学校ハンドボール 新人大会 (女子の部) **優勝**

【女子バレーボール部】

東久留米市 中学生大会 (女子の部) **総合優勝**

【ソフトボール部】

ジュニア育成地域推進事業 ソフトボール大会 **準優勝**
優秀選手 2年生 川合 胡春



人権尊重推進月間 (さわやか月間) 表彰！ (敬称略)

【作文部門】

優秀賞 1年生 河野 篤
努力賞 1年生 久見瀬 ももか



第71回「社会を明るくする運動」 (敬称略)

【書画作品展】

感謝状 2年生 伊代野 季央
感謝状 2年生 葛西 来瞳
感謝状 1年生 廣瀬 純蓮



「薬物乱用防止ポスター・標語」入賞者 (敬称略)

【ポスター部門】

優秀賞 2年生 高橋 希榮
優秀賞 2年生 栗栖 果歩

【標語部門】

優秀賞 3年生 香取 穂乃美



令和3年度 **学校評価アンケート (保護者)** へのご協力ありがとうございました。集計結果を西中Webサイトに掲載いたしましたので、ご覧ください。今後とも保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

<西中Webサイト>

<http://www.higashikurume-school02.jp/~nishi-j/>